



駿
姫
如
分

ハネキシンヨブン





やっぱり
崖側の警備は
手薄だわ



クラウザーは
忍者を
知らないの
かしら？



フフン！
予想的中！

舞聞くん
だ

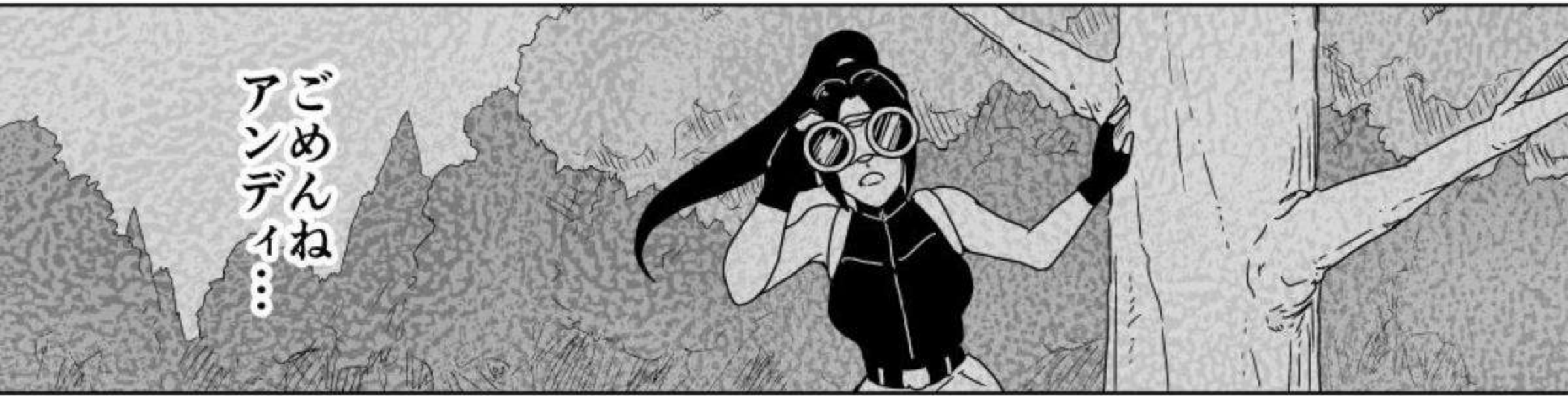
カ
ン



クラウザーは危険だ
決して不用意に
近付かないと
約束してくれ

大丈夫!
城外の森から
双眼鏡で
偵察する
だけよ

それより明日は
この店で落ち合って
ディナーデートなんだから
絶対遅れないでよね



ごめんね
アンディ...



城を調べる
千載一遇の
チャンスなの

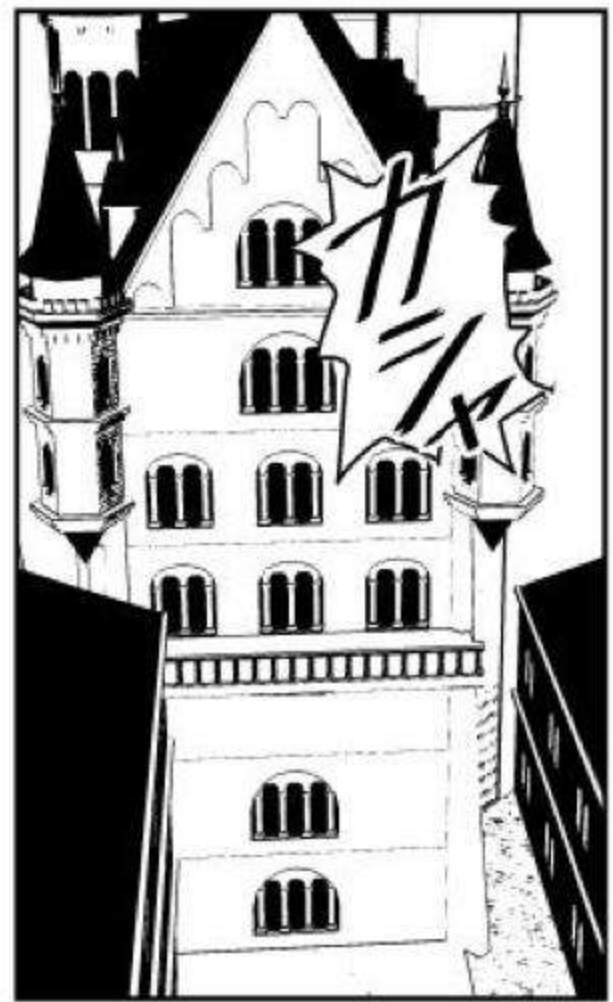


でも
安心して

クラウザーは今
城にいないわ



良い眺め



増改築した部分はあるみたいだけど

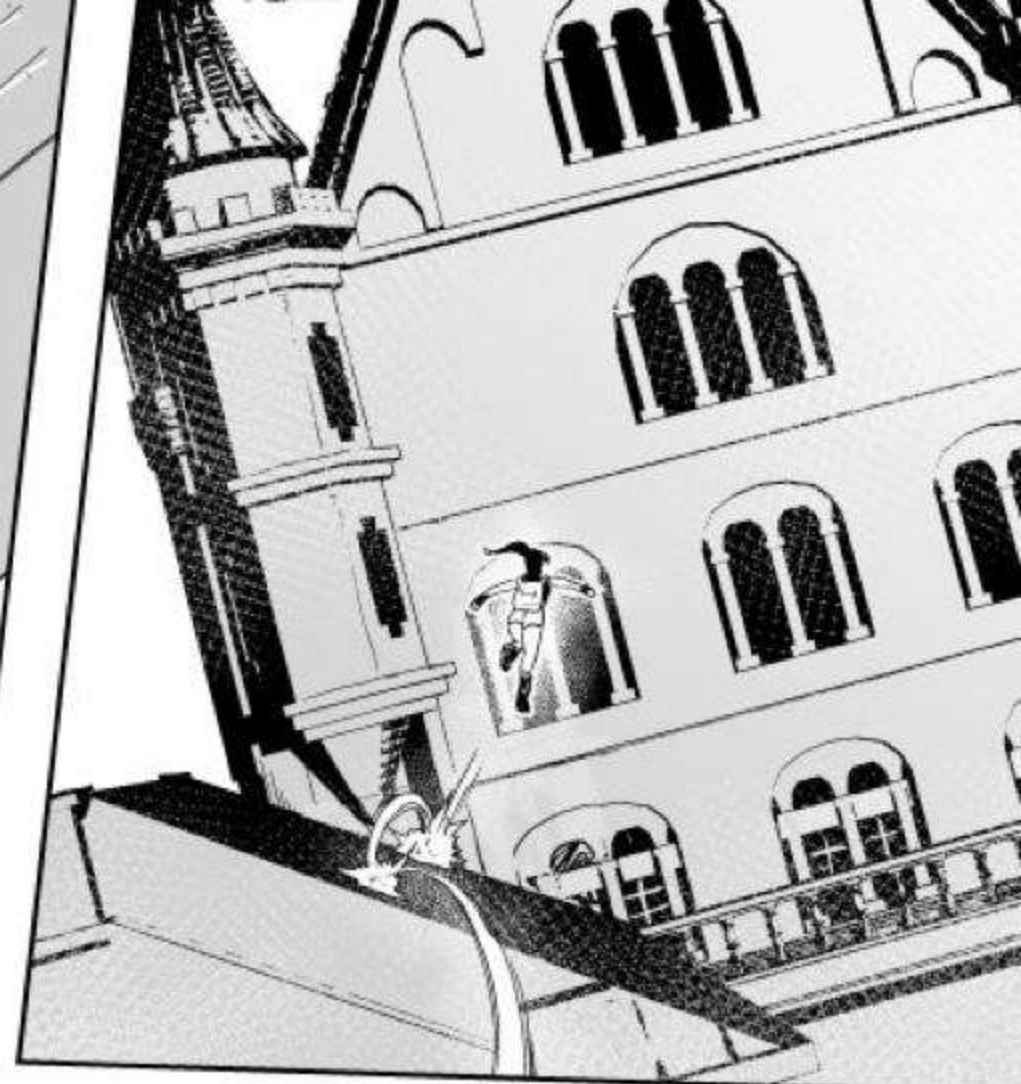
特に現代的なセキュリティはなさそうね



今度アンディと一緒に来るための

カッパ

入念に下調べしておかなくちゃ



さすがに
城の中まで
入ったなら
あとで
アンディに
怒られそう…

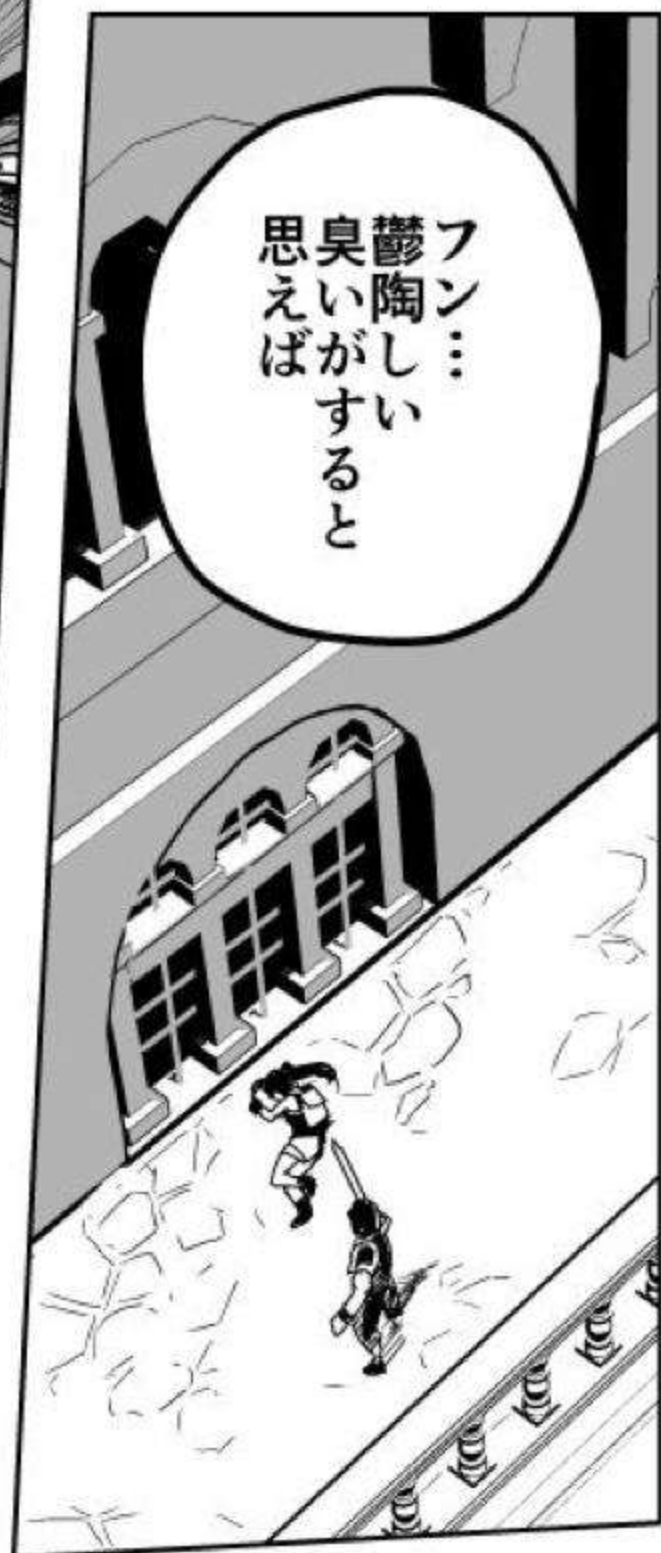
うーん
どうしよう？







やはり
女の鼠か



フン：
鬱陶しい
臭いがすると
思えば



死んだ
ふりは止める

急所は
外してある

貴様には色々
聞きたいことが
あるからな



たとえ女が
相手でも
容赦はせぬぞ

言っておくが
この
ブローレンス・
ブラッド

その体の
隅々まで
この刃で...

ツン



がっ

エ

ッ

オ



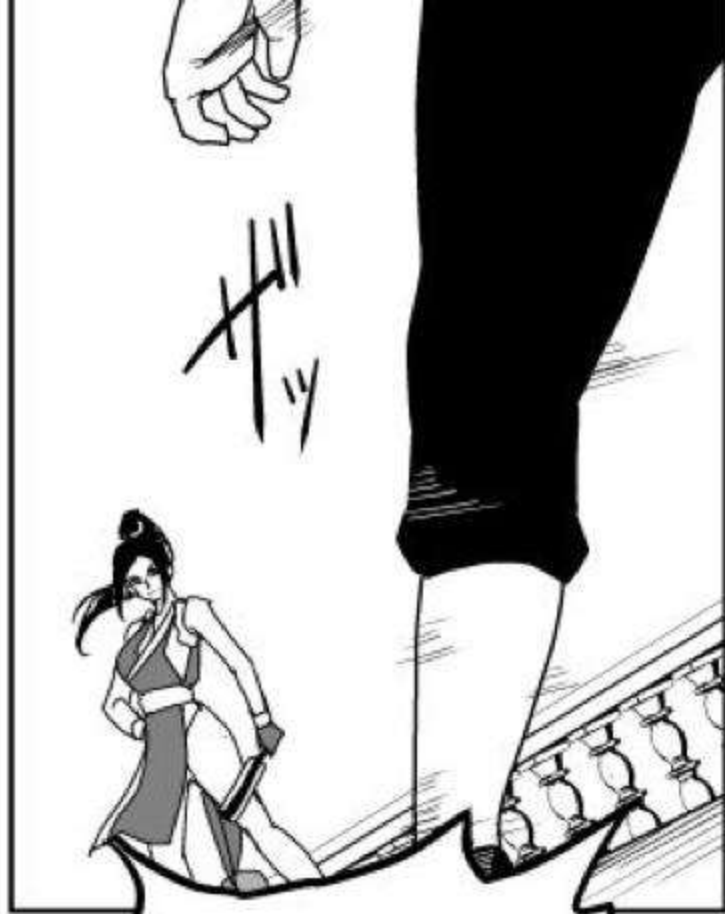
お人形遊びで
盛り上がってる
ところ悪いん
だけど：



ローレンスさん



そろそろ
生身の女の
相手もしての
頂けないかしら



愚かな
ヤツめ



空中に
逃れるとはな

着地点が
お前の墓場だ



アッ
アッ





身をもつて
知ることね



お生憎
忍者はスパイ謀報員
である
と同時に

アサシン
暗殺者でも
あるのよ



ほほう…
つまりその
ふざけた扇子で
この私を
倒すと…



クラウザー様の
右腕であるこの私を
なめるなよ
小娘 エエエツッ！



そんな
スピードじゃ
私には当て
られないわよ



でも動きが
読めていれ
ば十分可能
かわすこと
は



さすがに
速い！



御免遊ばせ



ぬおッ

よっと



ほらほら
もつと
頑張って



フフフ
作戦通り

やっぱり
予習は
大切よね



ローレンス
ブラッド...

元は有名な
闘牛士



現在はこの
シュトロハイム城の
警備隊長



プライドが
高くて
女子供が
大嫌い



性格は
冷酷残忍

ただ
短気で
頭に血
が上り
やすい
一面
もある



ゆえに...

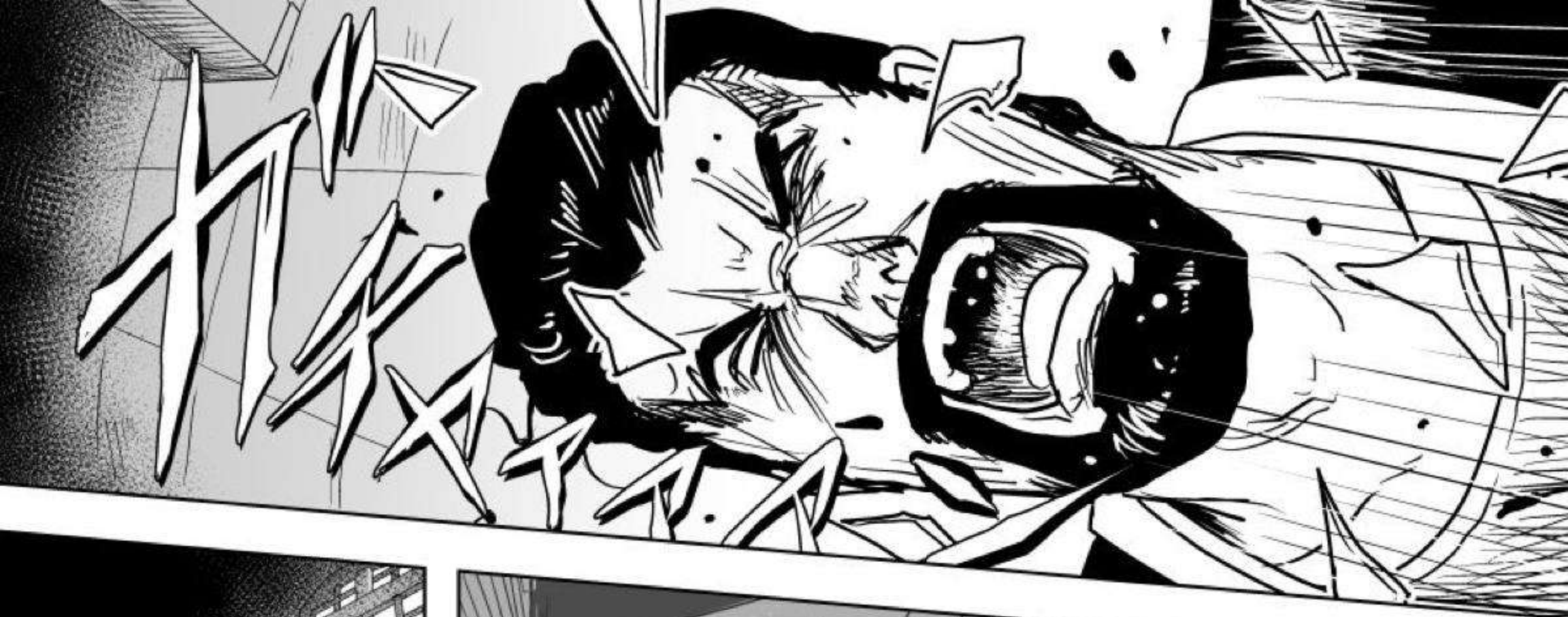


龍炎舞

挑発さえ
成功すれば

勝機は
おのずと
こちらに
やっで来る





この機は
逃せない



期待していた
以上の展開ね

あまり深入り
するつもりは
なかったけれど…



アンディの
ために…





クラウザーの
右腕はここで
折らせて
もらおうわ

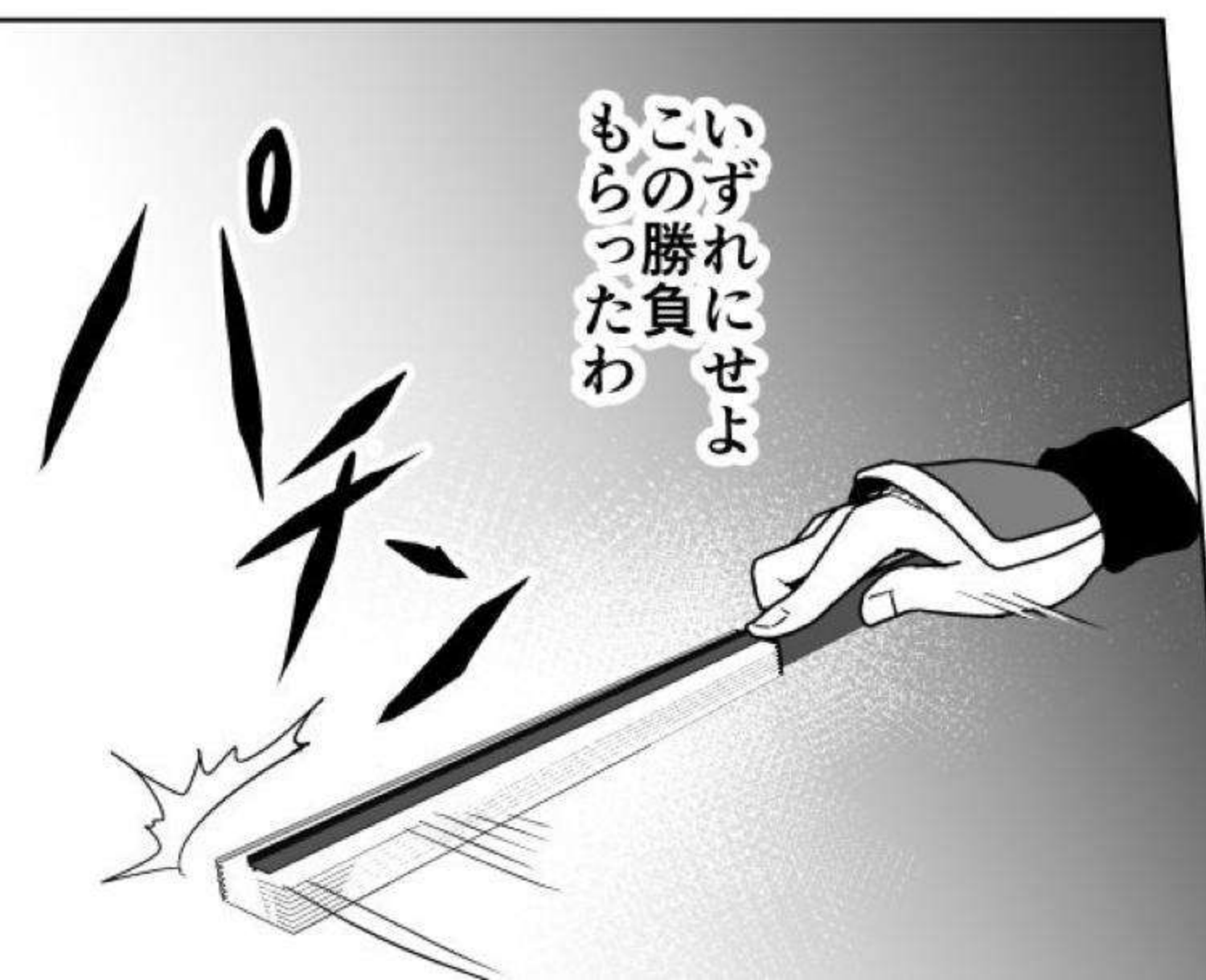


実力の差が
ありすぎた
みたいね

弱すぎて
退屈

パタ
パタ

まずは
ダメ押し
の挑発で
自尊心に
とどめを
刺す

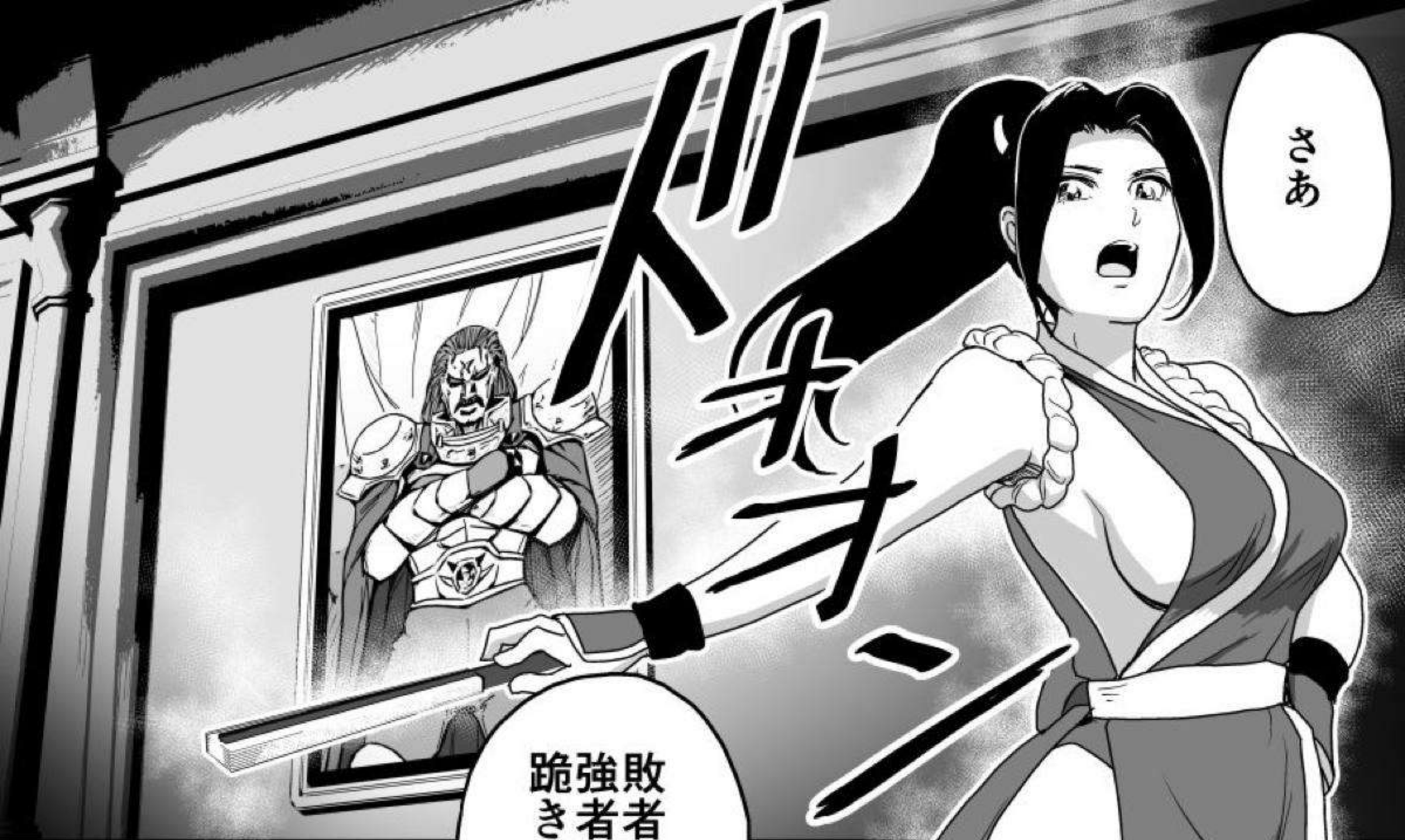


いづれにせよ
この勝負
もらったわ



これで
戦意を
失うか

さらに
激昂して
自滅するか…



ええ

敗者は大人しく
強者の前に
跪きなさい



強者…

さっきまでの
気迫が消えたの

どうやら
戦意を失った
みたいだね



ちよつと
拍子抜け

この程度の
男なら
わざわざ
潰す必要も
ないか…



往生際が
悪い!

椅子に
掛けて
あつた布?

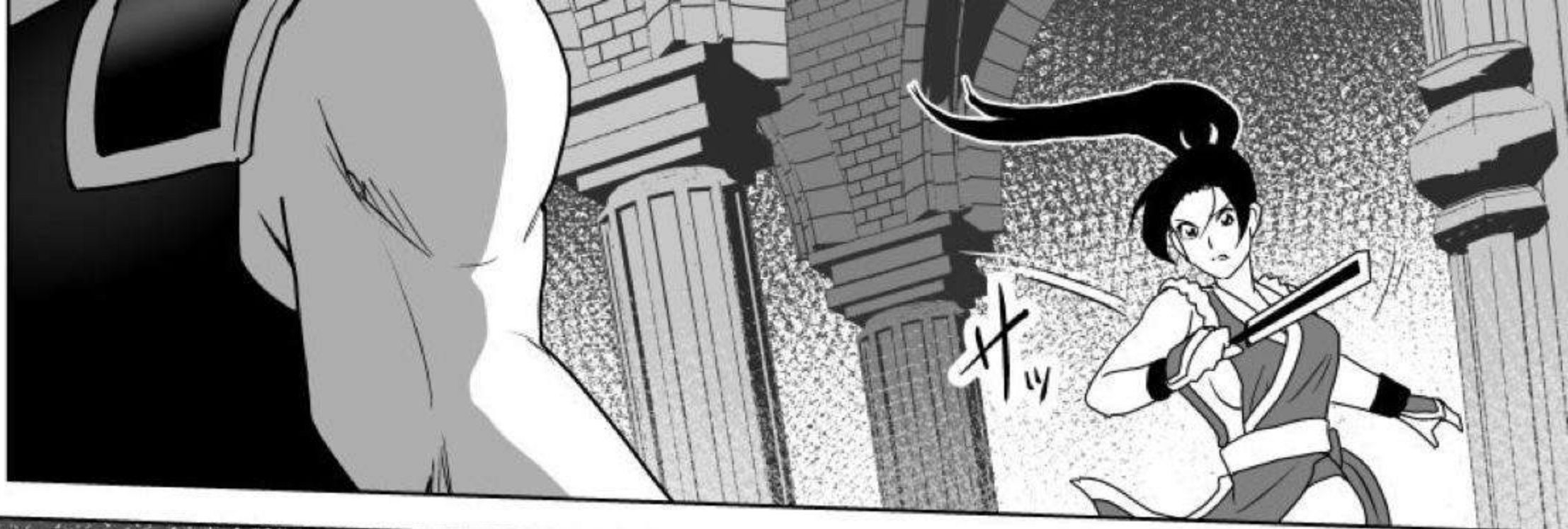




…
ッ
!



死
角
か
ら
？
い
つ
の
間
に





腕に絡み
ついた?
!!



キラ



こうなったら
忍の術で
布ごと
燃やして…





ツツ

!



……

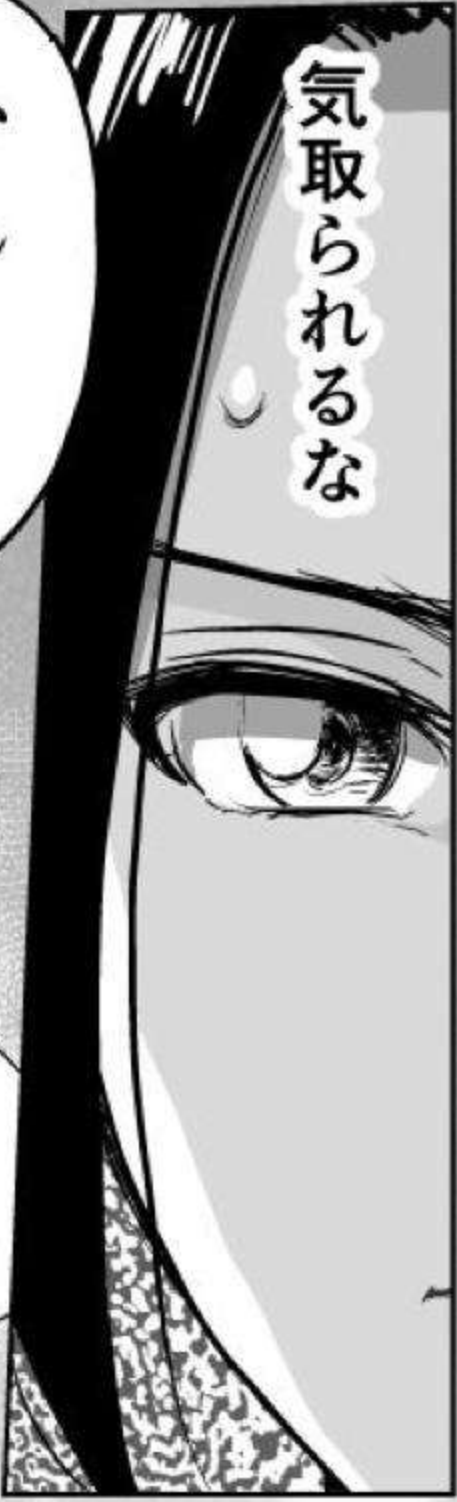
布がまるで
生きていて
みたい！



いっそ
大道芸人に
でもなったら
どうかしら？

クル
クル

ふうん
面白いわ
出来るのね
驚いた



気取られるな







落ちて
まだこちらが
優位なんだ

とにかく今は
あのマントを
排除しないと
おかないと



…なぜ？
体が反射的に
引いてしまった



やっぱり
龍炎舞を
直撃させて
燃やす
しか…





剣の上
のスピードが
上がった



肘鉄…!

まさか
最初から
このために



龍炎…



でも

この間合いは
チャンス



マントの
下から
カウンター
攻撃!!

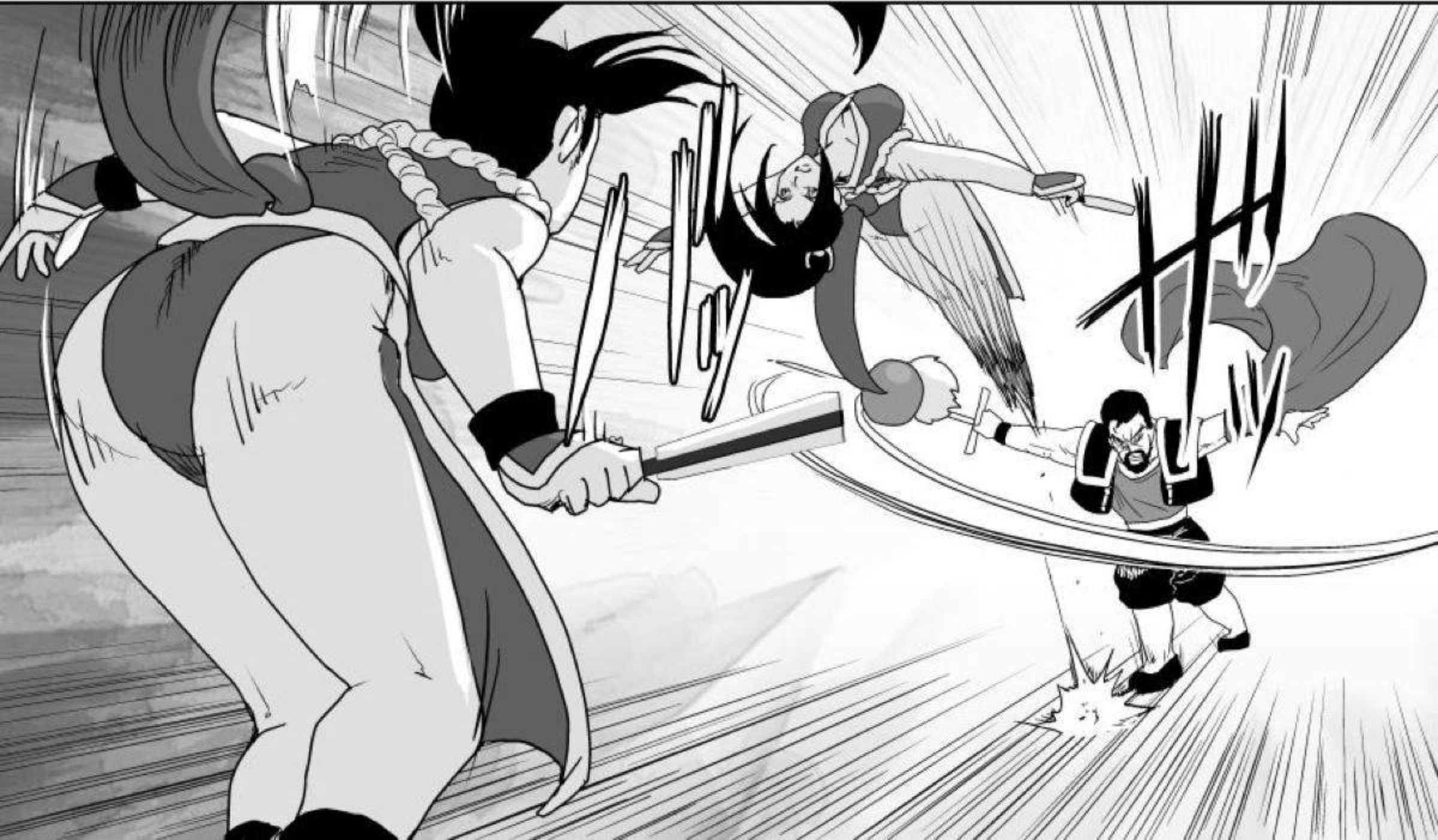


反撃しないと
主導権を
奪われる

立て続けに
四発も攻撃を
もらって
しまうなんて

くっ

クッ



一気逆転もすねる

速攻：やはり来た



ブラッシュディスピーン



速い！







あ一体何が？



コイツ...

戦い方が
変した



まさか
あの優勢を
覆される
なんて...



動きに無駄が
なくなり
鋭さが増している



マントの
下からの
攻撃

さっきとは
まるで別人だ




：浅はか
だったな

!?



フラディエス




クラウザー様
という
絶対的王者に
仕える
この私の前で

強者の風格を
装い威圧しよう
などとは…



コイツは
強者などでは
ないと



あの安っぽい
虚仮威しの
お陰で逆に
冷静になれた

そしてすぐに
悟ったのだ



貴様は…

ただの
狡猾な策士だ！

不遜な態度や挑発も
すべては敵を攪乱する
ための作戦に過ぎぬ



つまり
貴様は…

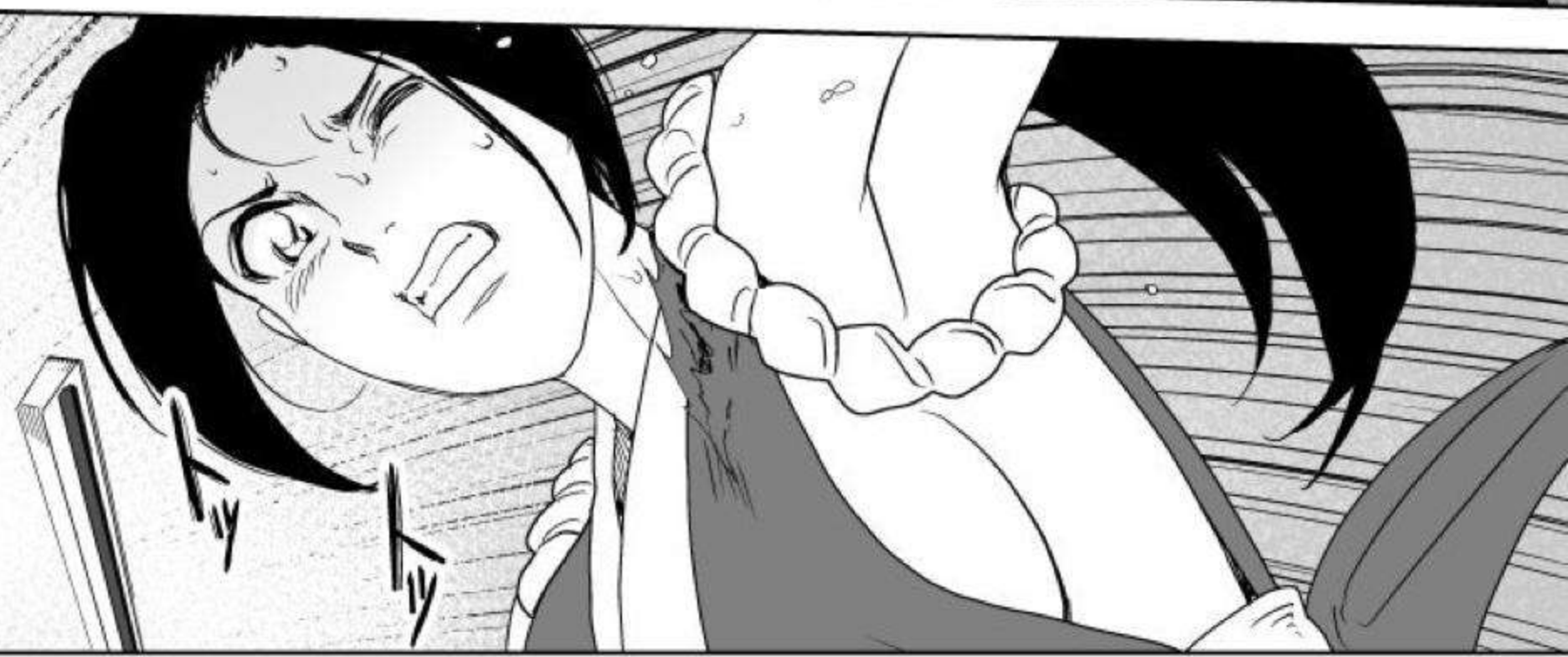


真の強者ならば
そんな小細工は
不要のはず

正攻法では
私に勝てん
ということだ



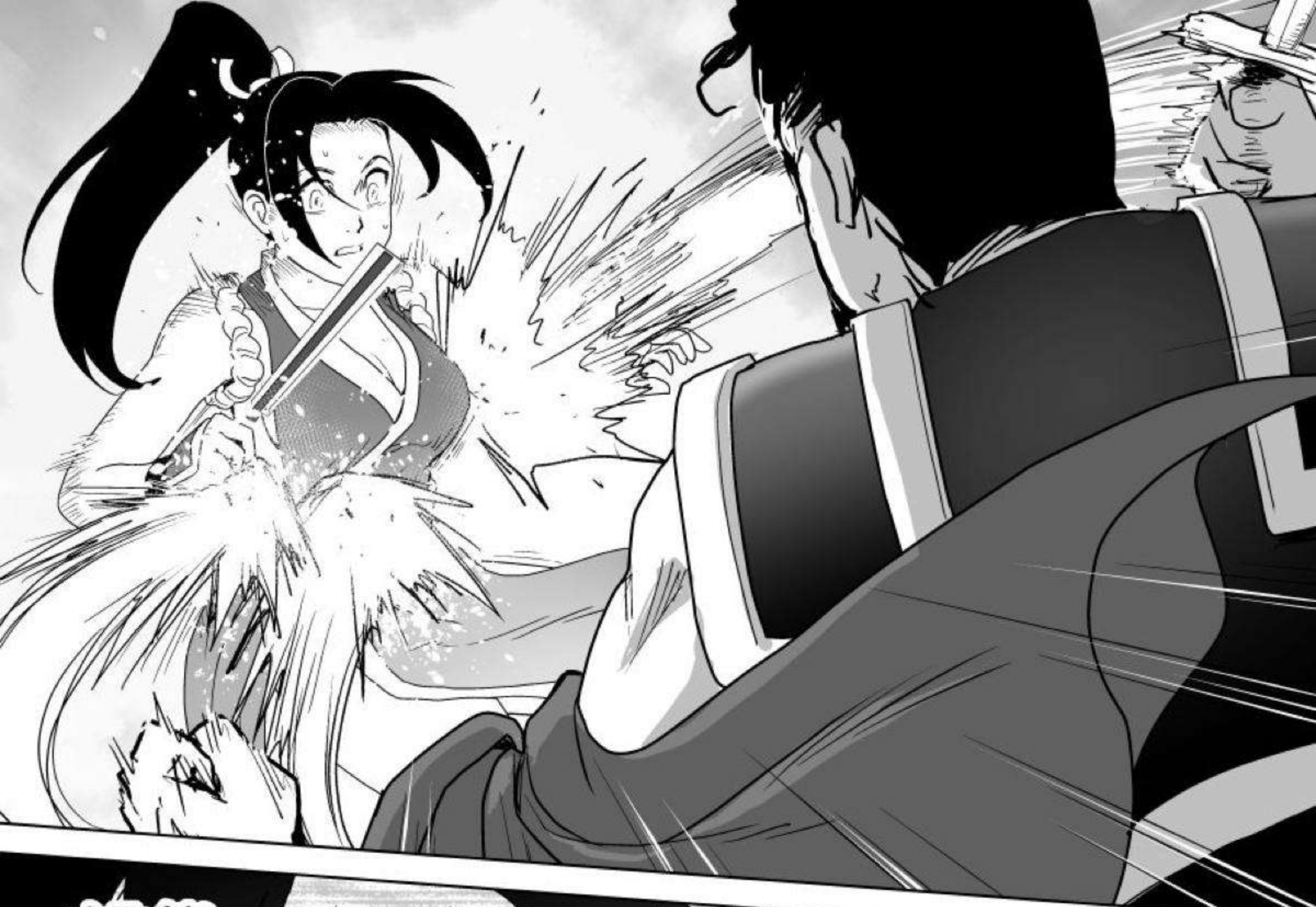
…っ！
スピード
だけじゃ
リーチ差に
対抗出来
ない



また
剣が来る！

…まじか





しつこく
に気が
つた
剣に
取られ
すぎた
!!!

コンビ
ネーション
パンチ!



貫かれる!



ダメ!!!



グ
ッ

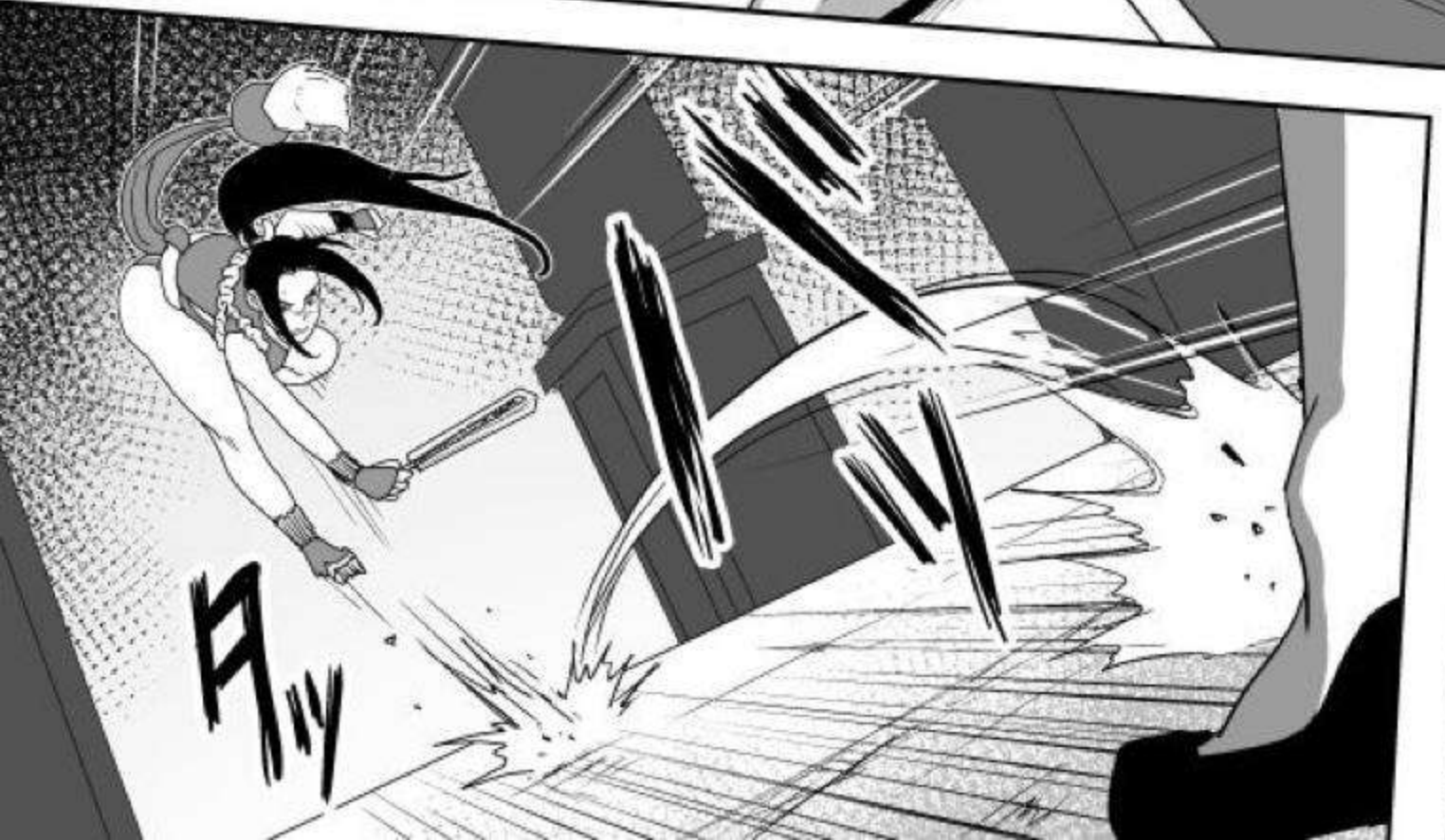




この城の主になり代わり
たっぷりと
もてなしてやる

その生意気な
体を切り刻み
ながらな

久しぶりの
来賓だ…



…せっかく
だけど

今夜は
ディナーの
予約を入れて
いるの！



悔しいけど
この場は
撤退して

アンディに
コイツの
情報を
伝えないと

さよなら
変態闘牛士さん



さっきの
あの技を...



対空で!



ダイナーは
キャンセルだ



もっと大事な
用事が出来たとな

ガッ



この城には
貴様のような
客のために
専用ルームが
用意されて
いるのだ



そこに
御同行
願おうか？



暗黒の中世より
使用されてきた
私のお気に入りの
部屋だ
クツクツク...



ホント
最低ね

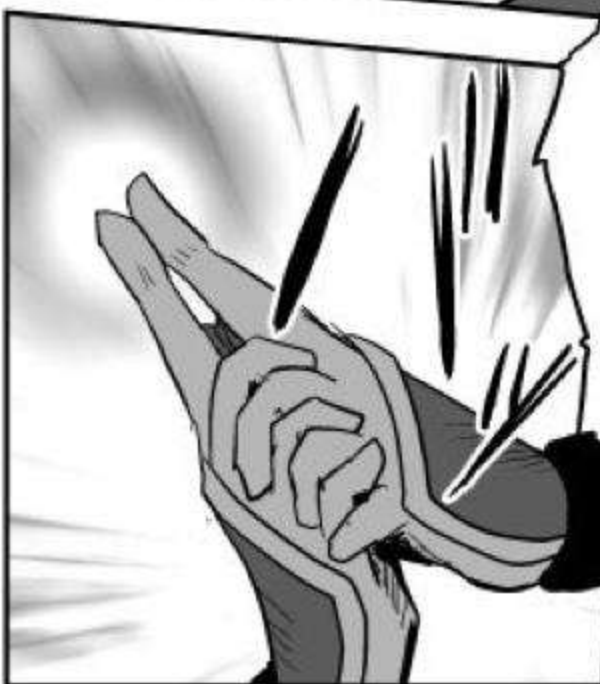




土足で
踏みつけ
てんじゃ
ないわよ！



女の子の
顔を…



かげろう
陽炎の舞



変態の趣味に
付き合ってる
ヒマはないの

言ったでしょ
私は今夜
デートなのよ！



飛び道具を
増やしたところで
逃げることなど…

フン
馬鹿め！

残念でした

忍者は
アサシン
暗殺者
だって…

ゴッ



最初に教えた
でしょ？



超必殺・忍蜂





獲った！



そのマントも
一瞬で灰になる

今度こそ
王手飛車取りよ



間一髪よける
ことが出来ても
この業火の
勢いからは
逃れられない！





マントで
旋風を
起こした!!

炎が風で
散っていく



だけど
これで奴は
もう回避が
間に合わない

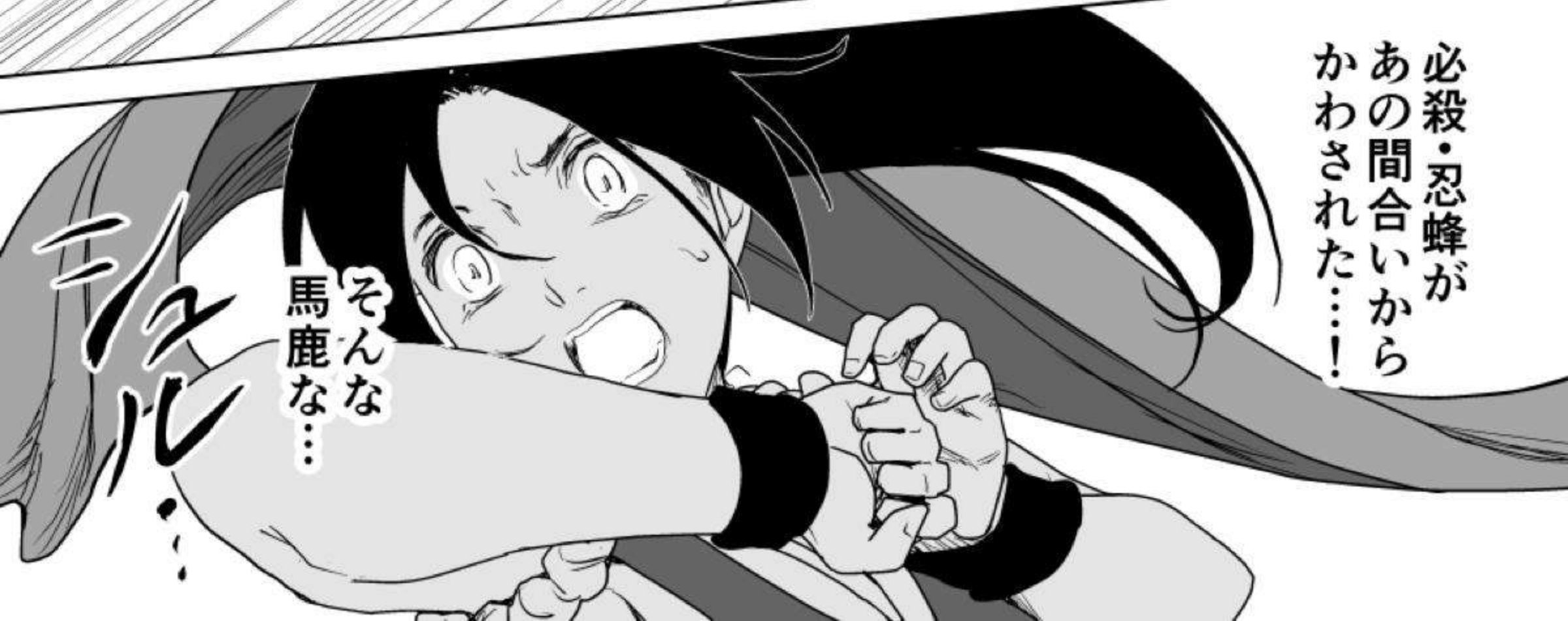


技の勢いも
十分ある

これで
決まりだ



必殺・忍蜂が
あの間合いから
かわされた…!!



そんな
馬鹿な…

ミユル…



土壇場で
ナメられた
ものだな



そんな突進が
この私に
通用するとしても
思ったのか

それとも
これも策略の
一つなのかな？

早く……っ
燃やさ……ない
……と……

この……
ままじゃ……
い、息が……





策を…
何か…さ
…く…を…



手足に力が
入らない



炎のマジックは
見飽きたんだよ



カッ



何だ？もう
ネタ切れか



どうした？



もう人形には
化けないのか？

余興の終幕は
私が引き受ける
ことにしよう

仕方がない



それおら
回れ!!
踊れ!!

はー!!

ハッハッハ

おあ...



これが
ファイナーレだ



ブラッディブラッシュ



アン…
…デイ…



ごめんなさい

わたし…
あなたの役に…

アァァ

カァ

カァ

役に立てなかった

貴様の素性と
滞在先は
すでに部下が
つきとめたぞ
マイ・シラヌイ

後はこの写真を
添えた招待状を
貴様の仲間に
送るだけだ

END

あとがき

「敗姫処分」シリーズ作品を久しぶりに制作することになり、まずは2015年に公開した「敗姫処分 不知火舞」に対して皆様から頂いた感想を熟読することから始めました。

その中から今回特に重視したのは、「ピンチの連続」、「ダメ押し」、「締め付け」というキーワードでした。これらのポイントを押さえつつ、あまり一方的な展開にならないようにヒロイン側からのアクションも入れてバトルドラマとして構成していったのですが、まだこの規模での制作が三作目なので、いざ漫画の形にしようとするとうまくいかないことも多く、悪戦苦闘の連続でした。お陰で漫画への理解も少しは深まったと思うので、次回作の構想はまた頂いた感想を読みながら考えていきたいと思えます。

ご意見募集中

作品に対するアンケートページを開設いたしました。

同梱の「アンケート」というファイルにURLが記載してありますので、是非ご意見をお寄せ下さい。今後の制作の参考にいたします。

アンケート回答は新しい制作のたびに何度も読み直すので、作品公開から時間が経過していても回答していただければすべて制作の参考材料にさせていただきます。ただし重複回答はご遠慮下さい。



「敗姫処分 No.2」

発行日 2020年5月21日
発行 ヒロイン工学研究所
著者 TARE活(たれかつ)

【Twitter】

<https://twitter.com/heroinekougaku>

【Mail】

tarekatsu21@yahoo.co.jp

無断転載禁止

18歳未満の方の閲覧は
ご遠慮下さい